

事業計画書

1. 団体名	あぐりでぐるり隊	
2. 事業名	土で繋がる〇〇町プロジェクト	
3. 他補助金との併用の有無	併用なし・併用あり（補助金名： ）※申請中含む	
4. 対象	対象となる地域や地域住民を記入してください。	
〇〇町住民、都市部住民		
5. 期間	実施期間を記入してください。 ※対象期間は最大で令和6年4月1日～令和7年3月31日までです。	
令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
6. 地域課題・事業目的	この事業でどのような地域課題の解決に取り組みたいですか。 現状や課題、事業の目的を記入してください。	
<p>課題（現状とそれにより誰がどのように困っているのか）</p> <p>地域の高齢化が進み、農作物を作っていない農地が増え、景観の悪化や獣害が発生している。住民同士の交流や新住人の移住もなく地域の活気が薄れつつあり、地域住民が安全・快適な生活を続けることが難しくなっている。</p> <p>事業の目的（上記の課題をどのような解決結果に導きたいのか）</p> <p>農地を活用した事業を実施することで、地域住民の交流を促すとともに、地域資源に目を向けてもらうきっかけを作る。また、地域内住民の交流を深めることで、孤立の防止や防犯など地域力の向上を図るとともに都市部からも参加者を募ることで地域の魅力を発信し交流人口の増加や新規移住者の取り込みも目指す。</p>		
7. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。	
耕作されていない農地を活用し1種まき、2草刈り、3収穫のイベントを開催する。講師は農業に詳しい住民とし、地域で家庭菜園をしたいけど実践できていない人、都市部の農業に興味のある住民に参加を呼びかけ、地域内の住民同士、外部の人との交流の機会を創出する。		
●スケジュール（会議、準備、イベント、検証などをいつ行うか、おおまかな計画を記入してください。）		
実施時期	実施内容	場所・会場
R5.4	総会/役員、ボランティアによる農地の準備	地域内畑とその周辺
R5.4.30	種まき、植え付けの会	//
R5.6 中旬	野菜のお世話、梅の収穫加工体験	//
R5.8	運営会議	//
R5.8 下旬	野菜の収穫祭	//
R5.10	上半期の活動通信の編集・発行	公民館
...

●情報発信方法（ウェブ、チラシ、ポスターなど）		
発信媒体	発信量	広報範囲（配布範囲、掲示場所等）
チラシ SNS (Facebook, Instagram)	100枚 月に1回程度	地域内住民 地域外の住民
8. 目標	この事業を地域課題解決に繋げるために①どのような変化・成果を目標として、②そのための事業実施の目標はどう設定するのか、①②の2つの観点から具体的に記入してください。	
事業実施に当たって下記の目標を書いてください。		
① 事業による変化・成果目標 耕作放棄地1箇所の活用、家庭菜園に取り組む住民の増加。 〇〇町のファンになり定期的に訪れる参加者が出てくる。 交流のなかった住民同士が顔見知りになる。 事業に新規に協力してくれる住民を5名増やす。		
② 上記①を達成するための実施目標数値（事業の回数や参加者数など） イベント3回 各参加者 住民10名 地域外参加者 5名 イベント以外の有志による畑作業3回 各回参加者 5名		
9. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。	
〇〇町自治会に地元住民への声かけや当日の運営にご協力いただく。 〇〇町営農組合に野菜生育についての相談・アドバイスをいただく。		
10. ステップアップの内容	※活動2年目以降の団体は記入してください。 ① これまでの事業実施時の課題と成果、② 今回申請の事業はこれまでの事業と比べてどう活動の充実をさせているのか、具体的に記入してください。	
①これまでは定期的に農産物のマルシェを実施してきており、毎回盛況で好評をいただいているが、参加者同士が交流する場にはなっていなかった。②体験を盛り込んだイベントにすることにより、参加者同士がつながる機会を増やすとともに、地域内で耕せていない農地を活用することで、耕作放棄地の問題にも取り組む。		
11. 次年度以降の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。	
	実施内容	資金獲得方法（助成金・寄付金）
2年目	野菜に加えお米にも取り組む 農産物を使った手仕事体験の回数1回	支援金 参加費
3年目	野菜とお米の栽培体験 農産物を使った手仕事体験の回数3回	寄附金 前年収穫物の売り上げ 参加費

12. SDGs の該当番号	SDGs（持続可能な開発目標）は「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2030年までに達成すべき17のゴール（目標）と169のターゲット（具体的目標）から構成されています。今回実施される事業はどの目標の達成に貢献するものか、ご記入ください。
番号	目標
2 15	飢餓をゼロに 陸の豊かさも守ろう

申請額に対して減額で交付決定となった場合も申請事業を実施します。
 ※内容が本様式に入りきらない場合は適宜追加し、事業内容が分かる参考資料があれば添付してください。

